

## 【スーパー讃岐っ子育成事業とは】

将来、日本や世界で活躍し、夢や感動を与えることができるアスリートの育成を目指す事業です。香川県内の小学4、5年生を対象に、書類審査や体力測定により優れたスポーツの素質を有する子どもたちを発掘し、関係団体と連携・協力を図りながら、専門的な指導者によるさまざまな育成プログラムを行います。中学生になったスーパー讃岐っ子はシニア事業に参加することになります。

(参照) "スーパー讃岐っ子育成事業について". 香川県教育委員会.

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/hotai/sanukikko.html>, (2019/10/23).

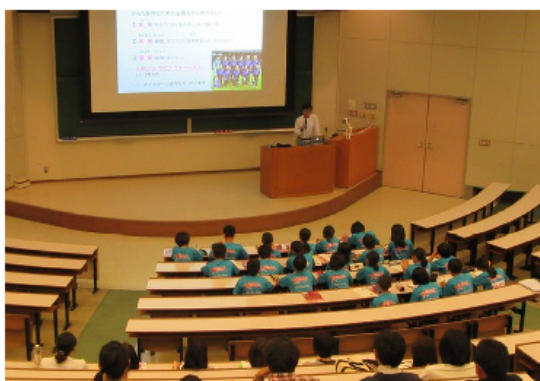
## 【四国学院大学と香川県による包括連携・協力に関する協定】

2013年度に、本学と香川県は包括連携・協力に関する協定を締結致しました。

この協定は、双方が有する人的・物的・知的資源を連携・協力して活用することにより、地域課題の解決を図り、個性豊かな地域社会の形成および発展に寄与することを目的としています。

本学と香川県は、これまでも様々な事業に連携して取り組んできましたが、この「スーパー讃岐っ子育成事業」においても協定に基づき、本学の教員（専門分野：スポーツ科学）が、スーパー讃岐っ子育成委員会の委員として専門的な知見を活用し、スーパー讃岐っ子の選考、スポーツ体験プログラムや育成プログラムの内容、実施体制の検討、事業成果の検証等を通じて、この事業の運営に協力しています。

また、この教員が担当する本学の全学部・学科で履修可能な授業「フィールド・プラクティカムⅢ(ベースボール実践演習Ⅲ)」の受講学生は、スーパー讃岐っ子の選考会において投・走・跳動作の測定補助実習が設定されており、自ら主体的に課題を設定し、調査、考察を重ねることで、実習をより円滑に実施し、地域課題の解決を図ることを目指しています。



【第⑤回】令和元年6月1日（土）18:00～20:00 『四国学院大学』

【ニュースポーツ・記録測定・保護者プログラム（栄養学Ⅱ）】スーパー讃岐っ子育成委員 漆原先生



第⑤回プログラムは、四国学院大学で2月16日以来2回目となる体力測定とニュースポーツおよび保護者プログラム（栄養学Ⅱ）を行いました。

保護者プログラムでは、漆原先生から「色々な飲み物にどれくらい砂糖が入っているか」、「水分補給」「毎日の生活習慣」などについての講義がありました。

体力測定では、前回に続き、シンガン（反射神経を測定）と身長、体重、長座体前屈を行いました。また、ニュースポーツは、カローリングを体験しました。カローリングは、「カーリング」に似ていて、得点ゾーンにジェットローラー（カーリングでいうストーン）を転がしてとめるスポーツでした。実際にやってみると方向と力のコントロールが難しく、悪戦苦闘していました。チーム戦では、考えながらのチームプレーも必要でしたが、大盛り上がりで笑顔の絶えない活動でした。

【第⑧回】令和2年2月15日（土）18:00～20:00 「四国学院大学」

【ニュースポーツ・記録測定・講義（栄養学）】スーパー讃岐っ子育成委員 漆原先生 他



四国学院大学で講義（栄養学）・体力測定・ニュースポーツ（ユニフォック）を行いました。保護者プログラムでは、漆原先生より「ジュニア期に必要な栄養と保護者のサポートについて」と題して講義を受けました。「朝食は王様のように、昼食は王子のように、夕食は貧乏人のように」と、朝食の重要性を学びました。男女別で行ったユニフォックでは、パス、シュート練習の後に簡易ゲームを行いました。チーム一丸となり、笑顔で取り組んだ活動では、11期生の並々ならぬパワーを感じました。